
僕は 獣のように

いちごいちご

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕は 獣のように

【コード】

N4633M

【作者名】

いちごいちご

【あらすじ】

今思いつきで書いた文章です。

僕は獣

他のはまた昔に書いたものです。

(前書き)

結局人間は動物で獣なんだ ということが書きたかったのですが。
よければ感想、批判、ありえねえ、等色々教えてください。勉強し
たいのです

「僕は 獣のように」

僕はまるで 獣のようにモノを喰らう

僕はまるで 獣のように人を抱く

僕はまるで 獣のように呻く啼く叫ぶ

僕は 獣じゃ なかったのか

どこがどう 違うのか

ただ僕は考える

人間なんて屑なのだからやはり僕は獣だ

そして

僕は

やはり獣のように

生きる のである

唾を吐きながら 涎をたらしながら

這いつくばって

生きるのである

「じゃんけん」

きみはとおい

どんどん ずんずん

途中つまずいたりして 青空をみあげたりして

どんどん ずんずん

きみはつよい

途中あくびしながら涙ながしたり それを誰にもみせなかったり

どんどん ずんずん

どんどん ずんずん

きみがかすんで影がゆれてる

さつきまで みえてたのになあ

きみはよわい

ねえ ぼくのこえ まだ とどいてる？

ねえ ねえ ねえ ねえ

じゃんけんの ぱあの ぱいなっぷるで

きみはみえなくなった

「賞味期限切れ」

無駄に長い影を見て影にすいこまれた僕

もえないゴミに出した んです

要らなくなった ものとか 大切だった ものとか

いつも 賞味期限を気にして桃の缶 開けないまま

腐っていった 開けてないけど

腐っていった 僕の気持と

腐っていった だろどろぐちゃぐちゃ

もう元には戻らない

もえないゴミに出した んです

ばいばい ごめんね ごめんね ごめんね ごめんね ごめんね

でも さあ じゃあ

ぼくも いずれ 賞味期限切れになるのでしょうか

(後書き)

拙い文章を最後まで読んで頂き有難うございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4633m/>

僕は 獣のように

2011年1月13日02時46分発行